

基本目的 8 市民が自己を高め、いきがいを持って暮らせる

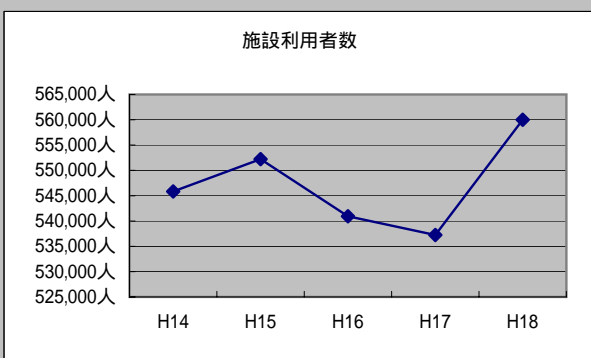
行動目標 8-2 市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める (所管課名 教育委員会スポーツ課)

任務 市民が体力や年齢、目的に応じてスポーツに親しむことができるようにする

任務の成果・活動指標の推移

施設利用者数

H14実績	545,823人
H15実績	552,235人
H16実績	540,922人
H17実績	537,248人
H18目標	560,000人



指標の説明

スポーツ課は、市民のだれもが生涯を通じて、それぞれの体力や年齢、目的に応じてスポーツに取り組み、楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指して施策を展開している。この任務目的の達成状況を、わかりやすく表すものとして、施設の利用者数を指標とした。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

生涯スポーツの普及、振興を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立(保々地区)及び設立準備(三重地区・橋北地区)のための啓発活動を行った。快適なスポーツ環境の提供や利用者の安全確保を図るために、施設の維持補修を行うとともに、中央緑地第一体育館の耐震補強等改修工事を実施した。

指定管理者による施設管理の実施に向けて公募の進め、平成18年度から実施している(四日市ドーム、温水プールを除く)。

四日市市体育協会の自立を図るために、運営支援を行った。

平成18年度

総合型地域スポーツクラブの運営支援及び設立に向けて啓発活動を行う。

スポーツ・レクリエーション団体の自主的活動を支援する。

青少年のスポーツ活動を支援する。地域を基盤としたスポーツ活動の日常化を図る。

スポーツ施設の老朽化対策を進める。特に耐震補強等改修工事を重点的に行う。

四日市ドームの指定管理者化を図り、市民サービスの向上と管理コストの縮減を図る。

これからの課題、施策等展開の方向性

スポーツ振興基本計画を早期に策定し、生涯スポーツ社会の実現を図るための基本的な方向性を示す。

総合型地域スポーツクラブの運営支援、設立準備を推進する。

快適なスポーツ環境を提供するため、計画的に施設改修を実施する。